

茂原市青少年育成会だより



元気な声と明るい笑顔が茂原市内いっぱい！

9月「少年の主張大会」中学生のすばらしい意見発表に会場は驚きの連続！

11月「タッチバレーボール交流大会2025」ちびっ子たちの歓声が響き渡る！

12月「クリスマスリース・ケーキづくり」真剣なまなざしが光り輝いていました。

『やればできる』青少年相談員、子ども会育成連合会とタッグを組んでの事業の数々、これからも市民の皆さまと共に子どもたちの心を輝かせてまいりましょう!!!

会長 伊藤 雅敏



9/23

第35回茂原市少年の主張大会

中学生が日常生活の中で考えていることや希望を自らの言葉で広く訴える「少年の主張大会」を東部台文化会館で開催しました。大会には11名の生徒が出場し、平等や偏見、介護などについての主張が披露され、訪れた人は耳を傾けていました。

また、本大会は令和4年度から中学生が運営に参画しており、今年度は29名の生徒が大会を成功させるために一生懸命頑張っていました。

来年度も中学生から発表者と実行委員を募集する予定です。学校を通じてお知らせしますので、興味のある方は、ぜひご応募ください。

文化部部长 高橋 建次



実行委員の皆さん



最優秀賞 尾形 早彩 さん

タッチバレーボール交流大会2025

11/23

茂原市発祥のスポーツ「タッチバレーボール」をとおして学校や学年をこえた交流を深めていただくため、タッチバレーボール交流大会を開催しました。サーブとラリーのミニゲームは小学校1年生～3年生、実際の試合は小学校3年生～6年生を対象とし、各優勝チームには全員にカットケーキが贈られました。

昨年度から対象を小学校全学年に拡大し、今年度は小学校3年生のみミニゲームか試合を選択可能としました。

交流を目的としているため誰と同じチームになるかは当日発表されますが、各チーム仲良くタッチバレーボールを楽しんでいました。

スポーツ部部长 鳩川 文夫



1～3年生によるミニゲームの様子



クリスマスリース・ケーキづくり

12/6



これまで標語コンクールや講演会を行ってきましたが、事業内容の見直しを行い、部会の名称も環境部会から学習部会と改めました。8月の第1回学習部会では、何から手をつけたらいいか見当もつかない状態でした。部会員一同悩みながら「いろんな体験をして自分の世界を広げよう」「体験を積んでみんなで成長」をコンセプトに茂原市子ども会育成連合会とコラボしてクリスマスリースとケーキ作りをすることにしました。小学校4年生から中学生までを対象とし、定員20名はあっという間に埋まってしまいました。

第1部は「はなも」さんを講師にクリスマスリース作りを行いました。先生の話聞きながら1時間半集中して作業をし、沢山の独創的なリースが出来上がりました。参加した子どもたちは「これから家の玄関に飾るんだ」と口々に言っていました。休憩をはさんで第2部は「レーヴ」さんを講師にブッシュドノエル作りを行いました。生地に丁寧に生クリームを塗り、ロールにし、また表面に生クリームを塗りデコレーションをして出来上がりになりました。難しかったけれどお家にお土産ができた、来年もやるならまた参加したいと感想をもらいました。

学習部会長 中村 一男



茂原市青少年育成会構成団体のご紹介

茂原市社会教育委員 委員 鈴木 輝夫

茂原市社会教育委員は、学校教育関係者や家庭教育関係者、社会教育関係者、学識経験者の9名で構成し、年3回の社会教育委員会議を中心に、茂原市社会教育事業や長生郡市社会教育連絡協議会行事等に参加しています。社会教育委員は社会教育に関し教育委員会に助言するため次の職務を行い、社会教育の振興、充実に貢献することが求められています。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
- (3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- (4) 教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べるができる。
- (5) 青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

茂原市社会教育委員会議では、令和5年度と6年度の2年間で、これからの青少年育成について検討し、茂原市への建議として「青少年育成のあり方について～茂原愛を育む人づくり～」をまとめ、令和7年3月に教育長へ建議書を提出しました。現在は、建議書をどう生かしていくかについて議論を重ねています。

豊岡小学校区青少年育成会 会長 中村 正明

5年生 食育体験「葱ッぺ餃子づくり」～地域の味を未来へつなぐ～

豊岡育成会では、食育活動の一環として、豊岡小学校5年生を対象に「葱ッぺ餃子づくり」の調理体験を行いました。今回の体験では、豊岡地域で生産されている新鮮な葱を使い、地域の会員の皆さんを講師に迎え、直接指導を受けながら餃子づくりに挑戦しました。

子どもたちは、普段から食卓に並ぶ食材が地域でどのように作られているのかを学ぶとともに、自分たちの手で調理することで食への関心を深めました。調理後は、手作りの葱ッぺ餃子と、地域で販売されている市販の葱ッぺ餃子を給食時間に食べ比べる機会も設けました。「手作りの方が葱の香りが強い!」「市販の餃子もおいしいけど、みんなで作るともっとおいしい!」など、子ど



もたちからは多くの感想が寄せられ、食べ比べをとおして味の違いを楽しむ姿が見られました。

今回の取り組みを通じて、5年生は豊岡地域で作られている食材の魅力や地域産業への理解を深めることができました。豊岡の農産物に誇りを持つ気持ちや、郷土を大切に作る心を育む貴重な機会となりました。

次号

茂原市保護司会および東部小学校区青少年育成会をご紹介します。

発行日：令和8年2月1日

編集・発行：茂原市青少年育成会 会長 伊藤 雅敏

事務局：茂原市教育委員会生涯学習課内

茂原市道表1番地 TEL 0475(20)1559